

別紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措 置 名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備 考
1	地域活性化措置	しまづくりサミット2017及びブライラン ダー2017参加事業	利尻富士町	109,320	100,000	

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	地域活性化措置	しまづくりサミット2017及びアイランダー2017参加事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		利尻富士町		
交付金事業実施場所		東京都豊島区池袋3丁目		
交付金事業の概要		島をよりよくしようと行動する方や離島に住み続けたり住んでみたくなるような島づくり実現のために、離島住民のアイデアや意見を共有する目的で開催のしまづくりサミット2017に参加します。 (日時:平成29年11月17日(金)12:00~15:00、場所:池袋サンシャインシティ、参加者数:150人) 全国の離島が一体となって離島の持つ素晴らしさを都市住民に訴えかけるとともに、都市居住者等に情報を提供し、交流人口の増加、UJIターンの促進を図る目的で開催のアイランダー2017に参加します。 (日時:平成29年11月18日(土)10:00~19日(日)17:00、場所:池袋サンシャインシティ、来場者数:約1万人)		
総事業費		109,320	交付金充当額 うち文部科学省分 うち経済産業省分	100,000 100,000
交付金事業の成果目標		本町では、過疎化・少子高齢化が進んでおり、交流人口の増加、UJIターンの促進を図る必要があります。さらに、島をPRする機会の減少や離島関係者との情報共有もなかなかできない状態にあります。 そのため、しまづくりサミット2017に参加することで、離島関係者との情報共有を密にすることや島をより良くするアイデアを創出するきっかけとなることができ、移住定住人口の増加を図ります。アイランダー2017については、島の良さをPRすることで、UJIターンによる定住人口の増加を図ります。ひいては両事業において、発電用施設の設置及び運転の円滑化のため、地域の理解を促進していくこととします。		
交付金事業の成果指標		成果目標を達成するためには、本町のブースに前年度よりも多くの来客を取り込み、島の魅力を知ってもらい、興味を引くことが必要です。さらに、各離島関係者との交流を図り、移住定住のアイデアを多く生み出すことが必要です。 本交付金を活用し、都市部における2日間の離島の持つ素晴らしさをPRする機会・各離島関係者との交流の場を確保します。		
交付金事業の成果及び評価		本交付金の活用により、参加者3名のうち職員1名の参加を確保し、3名体制(職員2名、地域おこし協力隊1名)で2日間にわたり都市住民に離島の良さをPRすることができ、各離島関係者との交流の場を確保することができました。 移住定住ブースでは、昨年2名に対し、今年は4名の相談者に来ていただきました。 物販ブースでは、例年(昆布ラーメン、とろろ昆布)とは違った商品(昆布ラーメン、焼き昆布、切り昆布)をもっていき、全て完売することはできなかったものの、利尻昆布＝「出し昆布」のイメージを変えることができ、利尻昆布の良さを改めて実感していただくことができました。 次年度以降もこの事業に参加し、多くの方に島の良さを知ってもらうことで、観光や移住定住につなげていき、さらに今後も地域の理解促進を図っていきたいです。 なお、観光客数・移住定住人口の目標については、平成32年度に改めて評価を実施します。		
交付金事業の契約の概要				
契約の目的		契約の方法		契約の相手方
職員出張旅費		支給		利尻富士町職員
				109,320
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無				
無				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度 平成32年度				